

事業所名	グループホーム カトレア ※
日付	平成19年10月18日
評価機関名	特定非営利活動法人 高齢者・障害者生活支援センター
評価調査員	介護支援専門員・介護福祉士 訪問介護員
自主評価結果を見る	
評価項目の内容を見る	
事業者のコメントを見る (改善状況のコメントがあります!)	※

2. 評価結果 (詳細)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か		
	暖かい家庭的な雰囲気の中で、入居者のペースに合わせながら「普通の生活」に近づけていく支援・入居者の機能に合った役割を持ち、やりがいを感じてもらえる支援・入居者の家族や友人が気楽に寄れる居心地のよいホーム(家庭)作りを目指し、地域の一員として開かれたグループホームであり続けることを目指している。		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か		
	居室は馴染みの家具や調度品で充実した空間作りには心掛けている。また、家族や友人・知人が気軽に訪問できるようにホーム全体に明るい雰囲気があり、畳のスペースを設けて寛げる環境作りと入居者のペースに合ったケアで落ち着いた生活への支援に取り組んでいる。		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人で行えることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

1. 評価結果の概要

<p>講評</p> <p>全体を通して (特に良いと思われる点など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 閑静な住宅地の中にあるグループホームで、ホームの玄関周りの花壇には季節の花々が植えられており、来訪者を暖かく迎え入れてくれる。交通の便も良く、近隣にはスーパーもあり、家族が訪問しやすい環境が整っている。 ・ グループホームは建物の2階にあり、ドアを開けると入居者の穏やかな表情と明るい職員の声を迎えてくれた。室内の空気も爽やかで清潔感が感じ取れた。又、日常業務も整然と営まれており、チームワークの良さが感じられた。 ・ 職員の連携が良く取れており、個別の対応も圧迫感がなく声かけや誘導が自然で、職員からは「暖かい気持で介護が出来る職場です」という言葉が聞けた。 ・ リーダーと職員の情報の共有化による温かいケアが提供されていた。
<p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>介護日誌への記録をもうひと工夫され、現場での経過や結果・変化の継続などを記録し、業務や介護計画・研修などに役立てられるとよいと思います。</p>

III ケアサービス (つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か		
	入居者の培ってきた経験を活かした支援により、生活にハリと意欲を持ってもらい、機能低下の予防に努めている。居室への出入・食事・排泄・入浴の支援について尊厳の保持に心がけ、有する能力に応じて自立した日常生活が営めるよう取り組んでいる。		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常に家族とのコミュニケーションを図りながら入居者・家族の意見や要望(御意見・要望カードの活用)を聞き、サービスの質の向上につなげている。 ・ 月1回の看護師による現場での個別指導を行い、介護の質の向上を図っている。 ・ ミーティングで問題の発生について検討し、予防と解決に努めている。 		